

<p>古賀市共創まちづくり 4年間でのまちの変化</p>	<p>(1)共創人財の発掘</p> <p>市内外から共創チャレンジャーを発掘する</p>	<p>(2)共創の拠点づくり</p> <p>アイデアを出し合える対話の場をつくる</p>	<p>(3)情報発信</p> <p>古賀市の共創まちづくりを発信する！</p>	<p>(4)推進体制の構築</p> <p>共創まちづくりを自走させるプラットフォームを構築する！</p>
<p>1年目 (令和4年)</p> <p><b>現状を把握する</b></p> <p>GOAL</p> <p>きめ細かな現状把握 まずはやってみる！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内プレーヤーへのヒアリング調査 実際に古賀市内で活動している市内プレーヤーとまずはつながる。話を聞く。</li> <li>●体験イベントをまずはやってみる！ 体験イベントを開催してみて、どんな層が参加するのか調べ、彼らのニーズを分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リビングラボをまずはやってみる！ 対話の場を実験的につくることで来年以降の場の設計に活かす。</li> <li>●LINEグループを立ち上げる！ リビングラボに参加された方々と接点を持ち続ける。</li> <li>●リビングラボのフォローアップ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内プレーヤーの活動を記事化する！ 市内プレーヤーの想いや願いをアーカイブで書き残しておく。プレーヤーの見える化をはじめる。</li> </ul> <p>古賀の共創まちづくりを実現させるためのロードマップが描かれる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自走に向けたロードマップをつくる！ 今年一年での業務を踏まえ、古賀市の共創まちづくりが実装していくためのロードマップを描く。</li> </ul>
<p>2年目 (令和5年)</p> <p><b>共創まちづくりのビジョンを描く</b></p> <p>GOAL</p> <p>共創人財の発掘 共創ビジョンを描く 推進体制図を描く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内プレーヤーへアプローチし新規プレーヤーの卵を発掘する！ 市内プレーヤーへヒアリング調査を実施しながら、新たな共創人財を発掘する。</li> <li>●共創交流イベントを開催する！ 外部人材の話題提供を呼び水に市内プレーヤーが集りたくなるイベントを定期開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リビングラボを実施する！ 古賀市の目指すべき共創まちづくりのビジョンを語りあう。「こんなことをやってみよう」を可視化させる。</li> <li>●共創ビジョンを描く！ リビングラボの運営を通じて共創まちづくりのビジョンを見える化する。</li> </ul> <p>古賀の共創まちづくりに参画するプレーヤーとの関係構築が図られ、古賀市が目指すべき共創まちづくりのビジョンが見える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共創交流イベントを発信する！ イベントの様子を動画収録で配信する。</li> <li>●新規プレーヤーをnoteで発信する！ 昨年立ち上げたnoteを追記し続け、古賀市プレーヤーのアーカイブサイトとしてのボリュームを大きくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学・高校・小中学校、及び企業へ可能性調査を実施する。 共創まちづくりの推進体制に入っていたきたい学校や企業、組織へヒアリング調査を実施し、共創まちづくりに対する意向を確認する。</li> <li>●共創まちづくりを自走させるための具体的な運営体制の図を描く。</li> </ul>
<p>3年目 (令和6年)</p> <p><b>共創まちづくりがプロジェクトになる</b></p> <p>GOAL</p> <p>共創人財との関係構築 アイデアをプロジェクトにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共創交流イベントを続ける！ 共創交流イベントの開催を2年間続けることで市内におけるイベントの認知度を高める。</li> <li>●共創プロジェクトの企画発表会を実施！ 一年間リビングラボを実施した中で洗い出された共創プロジェクトを市内外に発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リビングラボを実施し、アイデアをプロジェクトにする。 「こんなことをやってみよう」から「やってみよう」をプロジェクトにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイデアがプロジェクトになるプロセスを発信する！ リビングラボの様子を動画収録で配信する。</li> <li>●プロジェクトをnoteで言語化する 共創プロジェクトの目的や想い、みたい風景を記事に書くことで発信力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共創まちづくり運営事務局の準備室を開設する！ 運営体制の理想像をカタチにするための準備室を設ける。 先進事例視察等を踏まえ、目指すべき運営体制の理想像を具体化させる。</li> </ul>
<p>4年目 (令和7年)</p> <p><b>共創まちづくりが実現しはじめる</b></p> <p>GOAL</p> <p>共創プロジェクトの実証実験 自走に向けた仕組みづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共創交流イベントが古賀市に定着する！ 古賀市内外のプレーヤーが領域を超えて定期的に交流できる場として定着する。 =「ここに来るとアイデアを話せる」というイベントになり、新しいプレーヤーと出会う場になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクトを実証実験する！ 共創プロジェクトの実証実験を行い。持続的にプロジェクトが続いていくためのPDCAサイクルを組み立てる。</li> <li>●リビングラボに新たなプレーヤーが参入しはじめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクトの応援を集めてみる！ 共創プロジェクトをクラウドファンディングのプラットフォームで発信してみようプロジェクトと社会との接続を試みる。</li> <li>●noteの記事更新を共創まちづくり運営事務局が担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●準備室から運営組織にアップデートされる 昨年度一年間の準備室運営を踏まえて具体的に事業を動かしていく運営組織を組成する。</li> <li>●共創まちづくりの自走化に向けたアクションプランを策定する。</li> </ul>
<p>古賀の共創まちづくりを担う運営体制が構築され、新たなプレーヤーが常に集まるアイデア交換の場が古賀市に定着する！</p>				